

タイトル 誰が決めるべきなのでしょう。				
テーマ・目標 子どもの成長に伴い、それぞれの状況で誰が意思決定すべきかについて、その理由を考え、こどもの権利等についての理解を深める。				
対象者／人数 () / ()人			日程・時間 目安の時間 60分	
	時間	ねらい	場面／アクティビティ／問い	場の設定
1	10分	本日の研修の意見を出しやすい雰囲気づくりを行う。	導入：寄せ鍋ゲーム。 ①食材カードを一人1枚配布し、グループ内で食材を使ってできる「世界で一番おいしい料理」を1品考える。 ○入れづらい具材を入れていくためにどのような話や工夫がされていたか話し合う。	グループ <4~5人> 【食材カード】
2	20分	複数の質問に対して誰が意思決定すべきかについて考える。	展開①：3種類のカード(親=緑、子ども=黄、子どもと親=赤)と夏季の例にあるような質問をいくつか用意する。それぞれの質問について各年齢を提示し、誰が決定をするべきかということを考え、カードを上げて答える。 例：あなたの家族が買い物に行くとき、あなたが一人で留守番できるかどうか、誰が決定するべきでしょうか？ あなたが5歳では？ あなたが10歳では？ あなたが15歳では？ 例：雨の中を外出するとき、あなたがレインコートを着るべきかどうか、誰が決定すべきでしょうか？ あなたが4歳では？ あなたが9歳では？ あなたが17歳では？ ○お互いに別の回答をした人がいたのはなぜか考え、それぞれ上げたカードについて理由を伝え合う。	グループ <4~5人> 【3色カード】 【質問シート】
3	10分	発達しつつある能力について確認する。	展開②：子どもたちが成長するにしたがい、個人的なことがらにおいてより多くの意思決定する機会と責任をもつようになることを知る。 ○質問に対して、正しい回答や間違った回答はあるのか考える。	グループ <4~5人>
4	10分	こどもの居場所づくりの取組について知る。	展開③：こどもの権利とこどもの居場所づくりについて知り、どんな取組ができるかを話し合う。	グループ <4~5人>
5	10分	研修を振り返り、今後の意識、行動の変容につなげる。	まとめ：振り返り ○研修を通して学習したことを、今後どのように活動に生かしていくかを話し合う。 ○感想を数名に発表してもらおう。	個人
【準備物】 ・食材カード(例：豚肉、ジャガイモ、ニンジン、たまねぎ、チョコレート等) ※食べられるものであれば何でもよい。 ・3色カード (例：親=緑色カード、子ども=黄色カード、子どもと親=赤色カード) ・質問シート				